

5月 給食たより



令和8年5月
三原市東部共同調理場

新学期が始まって1か月が経ちました。新しい学年での給食には慣れましたか？5月の給食目標は「望ましい食べ方を身につけよう」です。普段の給食時間を振り返りながら、「望ましい食べ方」について確認してみましょう。

望ましい食事のマナーを確認しよう！

食事のマナーは、食事をおいしく食べることができるだけでなく、食事を作ってくれた人への感謝を伝えるためにも必要です。

望ましい食べ方に近づけるよう、自分の食事中の行動について振り返ってみましょう！

<p>できているかな？</p> 	 <p>①食事の前後には、 しっかり手を洗おう。</p>	 <p>②食事のあいさつを きちんとしよう。</p>
 <p>③よくかんで食べよう。</p>	 <p>④食器に食べ物を 残さないようにしましょう。</p>	 <p>⑤おいしせいで、 食器を持って食べよう。</p>

こどもの日



5月5日は「こどもの日」ですが、この日はもともと五節句のひとつ「端午の節句」でした。こどもの成長をお祝いする日です。

端午の節句には、かしわもちやちまきを食べます。かしわもちは、新芽が育つまで古い葉が落ちない縁起物です。



5月は新茶の季節です♪



「茶つみ」という童謡を知っていますか？

「夏も近づく八十八夜 野にも山にも若葉がしげる〜♪」という歌詞です。

八十八夜とは、立春（2月4日頃）から数えて「八十八の夜」が過ぎた88日目（5月2日頃）を指します。この時期につまれたお茶は、飲むと長生きできるといわれる縁起物です。

また、この日を過ぎると霜がおりなくなり、気候が安定するといわれるため、本格的に農業を開始する目安にもなっています。

